

## 令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	24	学校名	磯城野高等学校
----	----	-----	---------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	安心安全な食品製造プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	バイオ技術科1～3年生（56名）科目「食品製造」「総合実習」内作業体系の内容で、地域農産物を利用した安心安全な加工食品の製造を目指す。
連携・協働相手	市民生活協同組合ならコープ、h i i v a（パンの製造販売）、JAならけん川東営農経済センター、田原本町内野菜農家、奈良県レトルト加工所
地域と共有している目標・課題等	地域農家が栽培する大和野菜を活用した加工食品の製造を目指す。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
地域農産物を活用した加工食品の製造において、地域の活性化につなげる。品質を損ねる危害要因を無くすことで、食品製造に必要な知識と技術を身に付ける。	

### 2. 事業の成果と課題

地域商店主による実習や加工所を訪問することで、生徒の地域に対する興味・関心が高まり、地域の魅力創造、地域の活性化、地域に貢献したいという思いが強くなった。地域と協働する中で生徒の自信獲得や学ぶことの意義を実感できた。生徒たちは様々な地域の企業や団体と協働することでミーティングを実施し、活動内容をどのように伝えと相手に分かりやすいかを考えるようになり、コミュニケーション能力を高めた。また、多角的な物事の見方ができるようになり、進路実現の一助にもなった。課題は、学校をあげての取組として展開する難しさがあり、学科や学校全体に取組を広げていく方法を今後探っていききたい。

#### 【参加生徒の感想】

- ・学校運営協議会の方や食品製造業者との交流に参加し、普段の授業では得られない経験ができた。
- ・活動を通し、味間いもが地域の人に愛されていることが分かった。

